

子どもたちはこんなことを学びました!



今回体験したアクティビティ



🕒 所要時間

約 30 分

📁 カテゴリー

 📖 科学 -Science-
 🏗️ 工学 -Engineering-

❤️ 身につくスキル

 🧠 想像力 👁️ 観察力
 🗣️ 論理的思考

★ 難易度

 1
 ☆ ☆ ☆

野菜くらべ

数種類の野菜を水に浮かべ、浮くものと沈むものを観察します。野菜が浮くか沈むかは、その育ち方（土の上か下か）や、物の「密度」が関係しています。空気が抜けていく様子や、野菜の断面を観察し、タネの形や野菜ごとの違いを比較します。このアクティビティを通して、野菜の特性や科学の基本的な考え方に触れることができます。

❓ どうしてこうなるの？

地上で育つ野菜は、主に植物の葉、茎、花、または果実の部分です。これには、ピーマン、トマトやナス（果実）、レタスやキャベツ（葉）、セロリ（茎）、ブロッコリー（花）、が挙げられます。地中で育つ野菜は、主に植物の根、球根、塊茎、または根茎の部分です。これには、ニンジンやダイコン（根）、ジャガイモ（塊茎）、タマネギ（球根）が挙げられます。これらは土の中で成長します。

地上で育つ野菜は、重みで茎が折れてしまわないように、空気を含むなどして、水より密度が小さくなっているものが多いです。

一方、地中で育つ野菜は、水よりも密度が大きく、水に沈むものが多いです。もし地中で育つ野菜が空気を多く含んでいると、雨が続けて土がドロドロにぬかるんだ時などに地表に浮かび上がってしまい、地面から顔を出し枯れて育たなくなってしまう可能性があります。そうならないように、地中で育つ野菜は空気をあまり含まないような野菜になっています。

このように、地中野菜は重くて沈みやすく、地上野菜は軽くて浮きやすいという特徴があります。

📌 実際に社会で使用されているもの

野菜の浮き沈みはその育ち方（地上か地下か）と関係があることを学び、野菜の特徴や栽培方法についての理解を深めることができます。これは、農業についての基礎知識を学ぶきっかけとなります。

さらに、野菜の中に含まれる空気やタネの形を観察することで、科学的な見方を養うことができます。こうした観察は、普段の生活で科学技術がどう使われているかを考えるきっかけになります。